



中之島だより

令和4年12月号

和歌山市立中之島小学校



いよいよ12月

【校長 太田 謙二】

今年のカレンダーも残りあと1枚となりました。いよいよ12月。「師走」です。2学期がスタートした時は、まだまだ暑さが厳しかったのが、今はもうすっかり寒くなりました。

さて、先月末の学校開放参観では、お忙しい中たくさんの保護者の方に授業の様子や中之島作品展などを見ていただき、大変ありがとうございました。

また、この期間に教育講演会を開催し、和歌山大学の豊田教授を招いて、6年生と保護者の方に「ネットトラブル・スマホ依存から子供を守る」というテーマでご講演いただきました。SNSによるトラブルやオンラインゲームについてなど、身近で自分のこととして考えさせられるととてもリアルな内容で、6年生と保護者の方々は、真剣に耳を傾けていました。ネット・スマホは、便利な反面、情報モラルや約束事などをしっかり守ることが非常に重要だと、私自身改めて認識することができた講演会でした。

今月は、9日に見守り隊や民生委員さんなど、日頃お世話になっている地域の方々をお招きして、子供たちが感謝の気持ちを伝える「ありがとう集会」を開催する予定です。学校教育は、学校、保護者、地域の連携が不可欠で、日頃から様々な活動にご協力いただいていること、大変ありがとうございます。常々「これが当たり前だと思わないようにしなければ。」と思っています。

これから年の瀬にかけて、だんだんとあわただしくなってきますが、12月は、一番交通事故の発生が多くなる月です。事故にあわないよう、自分で十分気をつけて欲しいと思います。

新型コロナウイルスについては、徐々に感染が拡大してきています。それとともに、インフルエンザも気になります。引き続き感染予防対策を徹底していかねばと強く感じています。



この12月を気持ちよく終えることは、この1年をいい年だったとしめくくることがつながります。残りの授業日数は15日余り。今年1年をいい形でしめくくることができるよう、保護者の皆様、地域の皆様、どうぞご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。